

A 受審保育所用アンケート

I 貴保育所の基本情報についてお伺いします。(□は該当箇所を☑)

都道府県名				保育所名			
運営主体	□公立 □社会福祉法人 □株式会社 □その他 ()						
保育所の利用定員	定員 名 (内乳児 名)						
保育所類型	□認可保育所 □保育所型認定こども園 □その他						
直近の第三者評価の受審年	西暦	年	現在までの受審回数	回			
受審に関する法人の方針	□特に方針はない □定期的に受審する (年ごとに)						

II 貴園の自己評価の現状と課題についてお伺いします。

ここでいう自己評価とは、保育所保育指針に基づく「保育内容等の評価」を念頭に置いたものであり、「保育所における自己評価ガイドライン(2020年改訂版)」をベースとした自己評価のことを指します。かつ「保育内容等の評価」には「保育士等の自己評価」とそれを踏まえて行う「保育所の自己評価」がありますが、このアンケートでは主に「保育所の自己評価」についてお聞きします。

福祉サービス第三者評価事業のプロセスで実施する「自己評価」とは違いますことを申し添えます。

問1. 貴園では、自己評価はどのように実施していますか。該当する数字に○を付けて、さらに右の欄でその内容について該当する丸付数字の前の□に☑を付けてください。(複数回答可)

1. 既存のチェックリストを使用して実施している	<input type="checkbox"/> ①園長・主任がチェックリストを用いて話し合い、実施している
	<input type="checkbox"/> ②職員個々がチェックリストを用いて実施し、園長・主任がまとめている
	<input type="checkbox"/> ③職員会議等でチェックリストの項目をもとに話し合い、まとめている
	<input type="checkbox"/> ④その他 ()
2. 日々の記録や発信物を一定期間でまとめ、振り返りを行っている	<input type="checkbox"/> ⑤日々の記録を要約し、振り返る機会を持っている
	<input type="checkbox"/> ⑥ドキュメンテーションなどをまとめ、振り返る機会を持っている
	<input type="checkbox"/> ⑦保育現場でのビデオなどを編集し、振り返る機会を持っている
	<input type="checkbox"/> ⑧その他 ()
3. 園内研修や外部講師による指導などを受けた結果をまとめている	<input type="checkbox"/> ⑨園内研修で、園の強み弱みを話し合っている
	<input type="checkbox"/> ⑩外部講師を招き、研修や指導を受けることで客観的な評価を受けている
	<input type="checkbox"/> ⑪第三者評価を受審し、評価結果をもとに振り返っている
	<input type="checkbox"/> ⑫その他 ()
4. 保護者の意見を反映するようにしている	<input type="checkbox"/> ⑬保護者会や保護者懇談会などで意見を求める
	<input type="checkbox"/> ⑭連絡ツールの通信欄に意見を書き込むように依頼する
	<input type="checkbox"/> ⑮保護者アンケートを実施している
	<input type="checkbox"/> ⑯その他 ()
5. その他の取組を行っている	(その他の取組の内容をご記入ください)
6. 自己評価を意識した取組は特に行っていない	

A 受審保育所用アンケート

問2. 保育所の自己評価においては、「地域住民等の意見を聴くことが望ましい（保育指針）」とされていますが、貴園ではどのような関係者から意見や要望等を聴くことが多いですか。それぞれの項目のあてはまる欄に○を付けてください。

④地域の関係者	結構聴いている	まあまあ聴いている	どちらともいえない	あまり聴くことはない	ほとんど聴くことはない
1. 自治体の保育・子育て支援担当職員					
2. 研究者・学識経験者					
3. 保育現場の経験者（元園長など）					
4. 他園の保育士等					
5. 子育て・障害児支援関係専門機関等					
6. 町内会・自治会関係者					
7. 民生児童委員					
8. 法人外部理事・評議員					
9. 運営委員					
10. 第三者委員					
11. その他（ ）					

問3. 問2の関係者の意見を受けて、貴園において実施し保育の改善・充実に有効と感じたことのあるもの（ア）について、④誰が関わったか、⑤どのような内容に関してか、記入してください。特になければ（イ）または（ウ）を選択してください。

（ア）これまでに実施し、有効と感じた取組等	関わった人（下記④から選択して丸付数字を記入）※複数選択可	内容（下記⑤から選択して丸付数字を記入）※複数選択可
1. 公開保育		
2. 開放保育・園庭開放		
3. 園内研修（外部講師の活用など）		
4. 外部の研修		
5. 園関係者が関与する評価		
6. 地域における協議会等の機会		
7. 外部からの訪問による支援		
8. 調査・研究等への参加、協力		
9. その他 []		
（イ）上記のうち有効と感じた取組等はない		
（ウ）上記いずれの取組等も行っていない		

選択肢④（誰が関わったか） ①自治体の保育・子育て支援担当職員、②研究者・学識経験者（大学教員等）、③保育現場の経験者（元園長など）、④他園の保育士等、⑤子育て・障害児支援関係専門機関等、⑥町内会・自治会関係者、⑦民生児童委員、⑧法人外部理事・評議員、⑨運営委員、⑩第三者委員、⑪その他（ ）

選択肢⑤（どのような内容に関してか。項目はガイドライン 38-39 頁参照） ①子どもの最善の利益の考慮、②子どもの理解、③保育のねらい及び内容、④保育の環境の構成、⑤保育士等の子どもへの関わり、⑥育ちの見通しに基づく保育、⑦子どもの家庭との連携と子育て支援、⑧地域の保護者等に対する子育て支援、⑨地域における連携・交流、⑩組織としての基盤の整備、⑪社会的責任の遂行、⑫健康及び安全の管理、⑬職員の資質向上

A 受審保育所用アンケート

問4. 自己評価の結果、改善を検討し取組んだ内容、あるいは取組めなかった内容があれば具体的な取組の内容を記入してください。(項目はガイドライン 38-39 頁参照)

改善を検討した項目	具体的な取組の内容 (あるいは取組めなかった内容)
1. 子どもの最善の利益の考慮	
2. 子どもの理解	
3. 保育のねらい及び内容	
4. 保育の環境の構成	
5. 保育士等の子どもへの関わり	
6. 育ちの見通しに基づく保育	
7. 入所する子どもの家庭との連携と子育て支援	
8. 地域の保護者等に対する子育て支援	
9. 地域における連携・交流	
10. 組織としての基盤の整備	
11. 社会的責任の遂行	
12. 健康及び安全の管理	
13. 職員の資質向上	

問5 貴園では、実施した自己評価の結果をどのように共有、活用していますか。(複数回答可)

1. 職員会議等で自己評価の結果を検討し、園の強み弱みを話しあっている
2. 前年度の自己評価を基に研修計画を立てている
3. 自己評価結果を元に、職員参画のうえでわかりやすい概要版を作成している
4. 保護者に概要版を配布・掲示などして、保護者に意見を求めている
5. 地域の関係者に概要版を配布し、意見を求めている
6. 自己評価結果を外部講師等に提示し、意見を求めている
7. 実施した自己評価を共有することは特にしていない
8. その他 ()

A 受審保育所用アンケート

問6. 自己評価結果の公表方法及び公表内容についてお教えてください。①②③のそれぞれの該当欄の数字に○を付けてください。

①公表方法	②公表内容は結果だけを公表
1. 市町村へ報告	1. チェックリストの判定 (a,b,c 等) のみ公表
2. 園だより・通信ツール等に掲載	2. 判定の根拠を文章で説明し公表
3. 園内の見やすい場に掲示	3. 概要版を作成し公表
4. 法人・園のホームページに掲載	4. チェックリスト以外の取組を公表
5. 保護者会等の機会に報告・説明	③公表内容は検討した結果も入れて公表
6. 地域の保育所や関係者の集まりで報告	1. チェックリストから検討した結果を公表
7. 概要版を作成し関係機関等に配布・配架	2. 概要版に検討結果も含め公表
8. 公表していない	3. 保護者や関係者の意見も含め公表
①②③に関してその他の取組 ()	

問7. 貴園では、保育所の自己評価の効果について、どのように感じているでしょうか。それぞれの項目のあてはまる欄に○を付けてください。

	まあまあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない
1. 保育士等の自己評価を踏まえて行う保育所の自己評価で十分である			
2. 自己評価と保護者の視点を組み合わせることで効果を感じている			
3. 自己評価と外部の多様な視点を組み合わせることで効果を感じている			
4. 自己評価は義務なので実施しているが効果はあまり感じられない			
5. その他 ()			

問8. 自己評価を行うにあたって、困難と思われる事項に○を付けてください。(複数回答可)

1. 保育士の業務負担が増える
2. 職員全員で検討する時間が取れない
3. 自己評価の活用方法が難しいと感じている
4. 自己評価することの意義を見出せない
5. その他 ()

問9. その他、保育士の自己評価、保育所の自己評価、多様な視点を取り入れる仕組みに関して、ご意見があれば記入してください。(自由記述)

A 受審保育所用アンケート

III 貴園の福祉サービス第三者評価（以下「第三者評価」）の現状と課題についてお伺いします

問 10. 直近の第三者評価を受審した動機はどのような理由からでしょうか。あてはまる項目のうち、特に重視している項目を、下記の枠の中に第1位から第3位まで該当の数字を記入してください。

1. サービスの更なる向上につなげたいため
2. 園全体を総チェックして、現状を把握したいため
3. 改善のヒント（気づき）を得たいため
4. 園の強み・弱みを明確にしたいため
5. 評価結果を広く公表して園の透明性を高めたいため
6. 保護者の意向を把握したいため
7. 職員の意向を把握したいため
8. 第三者評価が努力義務となっているため
9. 法人の基本方針に第三者評価受審が位置づけられているため
10. 行政の補助金の対象となるため
11. 市町村の審査基準の対象となるため
12. 民営化の要件であるため
13. 予算の弾力運用のため
14. その他（

受審動機の第1位	受審動機の第2位	受審動機の第3位

問 11. 直近の第三者評価を受審して、質の向上に関する成果は得られましたか。

1. かなり成果を得られた ⇒問 12 へ
2. ある程度成果を得られた ⇒問 12 へ
3. 何ともいえない ⇒問 13 へ
4. あまり成果を得られなかった ⇒問 13 へ
5. まったく成果を得られなかった ⇒問 13 へ
6. その他（

問 12: 問 11 で「かなり成果を得られた」、「ある程度成果を得られた」と答えた方にお聞きします。その理由に○を付けてください。（複数回答可）

1. 評価結果は、園側が気づかなかった課題をあぶりだしてくれた
2. 評価結果は、園側も気づいてはいたけど取組んでいなかった課題をあぶりだしてくれた
3. 評価結果で園の特徴や強みを再認識し、運営上の励みになった
4. 評価結果により、保護者・子ども・地域の新しいニーズが把握できた
5. 評価結果により、保護者・子どものサービスに対する要望・苦情が把握できた
6. その他（

A 受審保育所用アンケート

問 13: 問 11 で「何ともいえない」、「あまり成果を得られなかった」、「まったく成果を得られなかった」と答えた方にお聞きします。その理由に○を付けてください。(複数回答可)

1. 評価結果では、園の具体的課題を読み取ることができなかった
2. 評価結果は、保育サービスの内容の理解が足りないものだった
3. 評価結果は、あまり園側の努力を読み取っていないものだった
4. 評価結果は、指摘ばかりが多く園の意欲を削ぐものだった
5. 評価結果では、保護者の意向が読み取れなかった
6. 評価結果では、職員の意向が読み取れなかった
7. その他 ()

問 14. 第三者評価の報告書を分析・検討した結果、改善を検討し取組んだ内容、あるいは取組めなかった内容があれば具体的な取組の内容を記入してください。

	改善を検討した項目	具体的な取組の内容 (あるいは取組めなかった内容)
共通評価基準	理念・基本方針	
	経営状況の把握	
	事業計画の策定	
	質の向上への組織的な取組	
	管理者のリーダーシップ	
	福祉人材の確保・育成	
	運営の透明性の確保	
	地域との交流、地域貢献	
	利用者本位のサービス	
	保育サービスの質の確保	
内容評価基準	全体的な計画の作成	
	環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	
	健康管理	
	食事	
	家庭との密接な連携	
	保護者等の支援	
	保育実践の振り返り	
	その他	

A 受審保育所用アンケート

問 15. 第三者評価の評価項目に関してのご意見をお聞かせください。それぞれの項目のあてはまる欄に○を付けてください。

第三者評価の評価項目に関する意見	そう思わない	どちらともいえない	そう思う
1. 管理・マネジメントに関する項目が多く、改めてマネジメントの重要性を認識した			
2. 管理・マネジメントに関する項目が多く、サービスの質の評価として違和感を感じた			
3. マニュアルの確認が多く、取り組んでいなかった事項を認識した			
4. マニュアルの確認が多く、実際のサービスの評価という面で不満が残った			
5. 具体的なサービスを聞く「内容評価基準」が、サービスの振り返りに役立った			
6. 具体的なサービスを聞く「内容評価基準」が、保育実践として物足りなかった			
7. その他 ()			

問 16. 保育所の自己評価と第三者評価の活用に関する関係性についてお聞きします。それぞれの項目のあてはまる欄に○を付けてください。

保育所の自己評価と第三者評価の活用に関する関係性	そう思わない	どちらともいえない	そう思う
1. それぞれに新たな気づきがあり、現状や課題を把握する上で補いあっている			
2. 結果を全体的に確認することで、園としての強み、弱みを捉えられる			
3. 園が実施する保護者調査と第三者評価で実施する保護者調査では結果に違いがあり、園の調査だけでは得られない参考となる意見が得られる			
4. 自己評価では特に改善につながらなかった事項が、第三者評価によって改善へとつながった			
5. それぞれ行ってきたが、これまで特に相互の関連を気にしたことはない			
6. それぞれの結果を相互に活かしたいが、その方法が難しくまだ実現できていない			
7. その他 ()			

A 受審保育所用アンケート

問 17. 第三者評価と行政による指導監査の活用の関係性についてお聞きします。それぞれの項目のあてはまる欄に○を付けてください。

第三者評価と行政による指導監査の活用関係性	そう思わない	どちらともいえない	そう思う
1. それぞれに園として改善すべき点や今後取り組むべき点を明確にする上で補いあっている			
2. 行政による指導監査と第三者評価では結果に違いがあり、指導監査では得られない参考となる意見が得られる			
3. 行政による指導監査のみでは問題なしとして特に改善につながらなかった事項が、第三者評価によって改善へとつながった			
4. それぞれ行ってきたが、これまで特に相互の関連を気にしたことはない			
5. その他 ()			

問 18. 問 17 の選択肢 1～3 のうち「そう思う」に○を付けた園にお聞きします。具体的な内容を記入してください。

具体的な内容

問 19. その他、第三者評価に関してご意見があれば記入してください。(自由記述)

問 20. この調査研究事業では、アンケートで把握された優れた自己評価実践を好事例として収集し研修等で活用することも目的としております。そのためにはアンケートで把握された優れた取組についてヒヤリングでさらに内容を深めたいと考えております。ヒヤリングはご都合の良い時間にオンラインで、1時間程度で終わりますが、ヒヤリングをご依頼した場合、ご協力いただけますでしょうか

1. ヒヤリングに協力できる
2. 何ともいえない
3. ヒヤリングに協力することは難しい

アンケートへのご協力ありがとうございました。

なお、アンケート結果は、保育所名等の個人情報適切に配慮した上で、調査研究の報告書や事例集に掲載し、当法人のホームページで公開します。